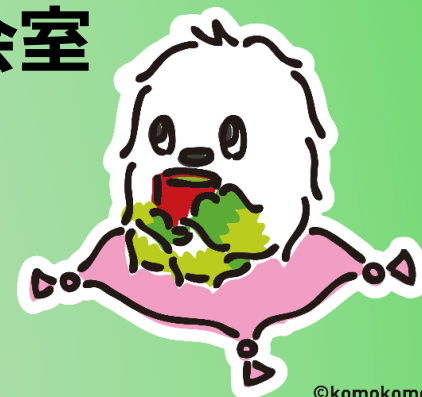


第10次森町総合計画策定に向けた 森町まちづくり検討会（第1回）

～ 森町ならではの「**幸せな暮らし**」について話し合おう ～

令和7年11月12日（水） 19:00～20:50
会場：町民生活センター 2階集会室

森町 政策企画課 政策企画係



©komokomo

本日のプログラム

時 間	内 容
19 : 00 ~ 19 : 02	開会挨拶
19 : 02 ~ 19 : 15	自己紹介
19 : 15 ~ 19 : 25	1.まちづくり検討会の目的
19 : 25 ~ 19 : 40	2.町民アンケート結果等の共有
19 : 40 ~ 19 : 45	3.本日のまちづくり検討会の進め方
19 : 45 ~ 20 : 35	4.話し合い
20 : 35 ~ 20 : 50	グループ発表
20 : 50	閉会（アンケート記入のお願い）

开会挨拶



まちづくり検討会の目的



©komokomo

まちづくり検討会の目的は？

第10次森町総合計画（次期総合計画）の策定に向けて、森町が目指すべきまちづくりの方向性や取組について、様々なお立場からご意見・ご提案をいただき、計画策定の参考とすることを目的として開催します。



まちづくり検討会では何を話し合うの？

令和7年度～令和8年度にかけて **5回程度の開催**を予定しています。

目 的	第10次森町総合計画の策定に向けて、様々な立場から、森町が目指すべき方向性や取組を話し合い、意見・提案等をいただくことを目的としています。 各回のテーマについては、 幸福度（ウェルビーイング）の視点 を取り入れて考えていきます。	
参加者	・町内でまちづくりに携わる個人・団体、森町に関わりのある方（10名） ・公募により参加希望のあった町民等（10名） 計20名	
開催方法	・ワークショップ形式で実施（各回2時間を想定）	
各回の 議題 (テーマ)	第1回 11/12	◆オリエンテーション ◆町民・中学生アンケート結果や「ウェルビーイング」の考え方を共有する ◆私にとっての「 幸せな暮らし 」について考えよう
	第2回 12/3	◆町民にとっての「 幸せな暮らし 」について考えよう
	第3回 2～3月頃	◆森町地域幸福度（ウェルビーイング）アンケート結果を確認する ◆第1～第2回の意見等から第3回以降のテーマを設定 ◆グループの意見・提案のとりまとめ
	第4回 4～5月頃	
	第5回 5～6月頃	

総合計画とは？

10年後の森町が目指すべき姿や、それを実現するために必要な取組を示す
森町にとって「まちづくり」の基本となる計画

総合計画は、**町の最上位計画**であり、町政の中長期的な指針となるものです。

第9次森町総合計画（以下、「現行計画」という。）では、まちの将来像を、

「住む人も訪れる人も『心とらぐ森町』」と掲げています。

■森町総合計画の沿革

計画名称	策定年月	計画年数	将来像（総論）
森町建設計画（第1次）	昭和30.3	5年	—
森町建設計画（第2次）	昭和31.9	5年	—
森町総合開発計画（第3次）	昭和45.4	7年	—
森町建設計画（第4次）	昭和48.3	10年	—
第5次森町総合計画	昭和53.1	8年	【総論】住みたくなるような町づくり
第6次森町総合計画	昭和61.1	10年	【総論】活力に満ちた心のふれあう町
第7次森町総合計画	平成8.12	10年	【将来像】豊かさ広がる活力とゆとりのまち・森
第8次森町総合計画	平成19.3	10年	【将来像】ええら森町！ ～みんながチカラの郷（さと）づくり 古きをいかして新しきを創る～
第9次森町総合計画	平成29.3	10年	【将来像】住む人も訪れる人も「心とらぐ森町」

総合計画とは？

総合計画は、「**基本構想**」、「**基本計画**」で構成されます。

現行計画では、基本構想と基本計画ともに計画期間は10年間としています。

■ 森町第9次総合計画の構成



基本構想

基本構想

まちの将来像など、**まちづくりのビジョン**を明確にし、政策の基本目標（政策テーマ）を定め、その実現に向けた指針を示します。

計画期間は **10 年間**としています。

基本計画

基本計画

将来像の実現と、**基本構想に基づく施策を戦略的に推進**するため、主要な施策・事業を掲げます。

計画期間は基本構想と同じ**10 年間**です。

第10次森町総合計画の計画期間について

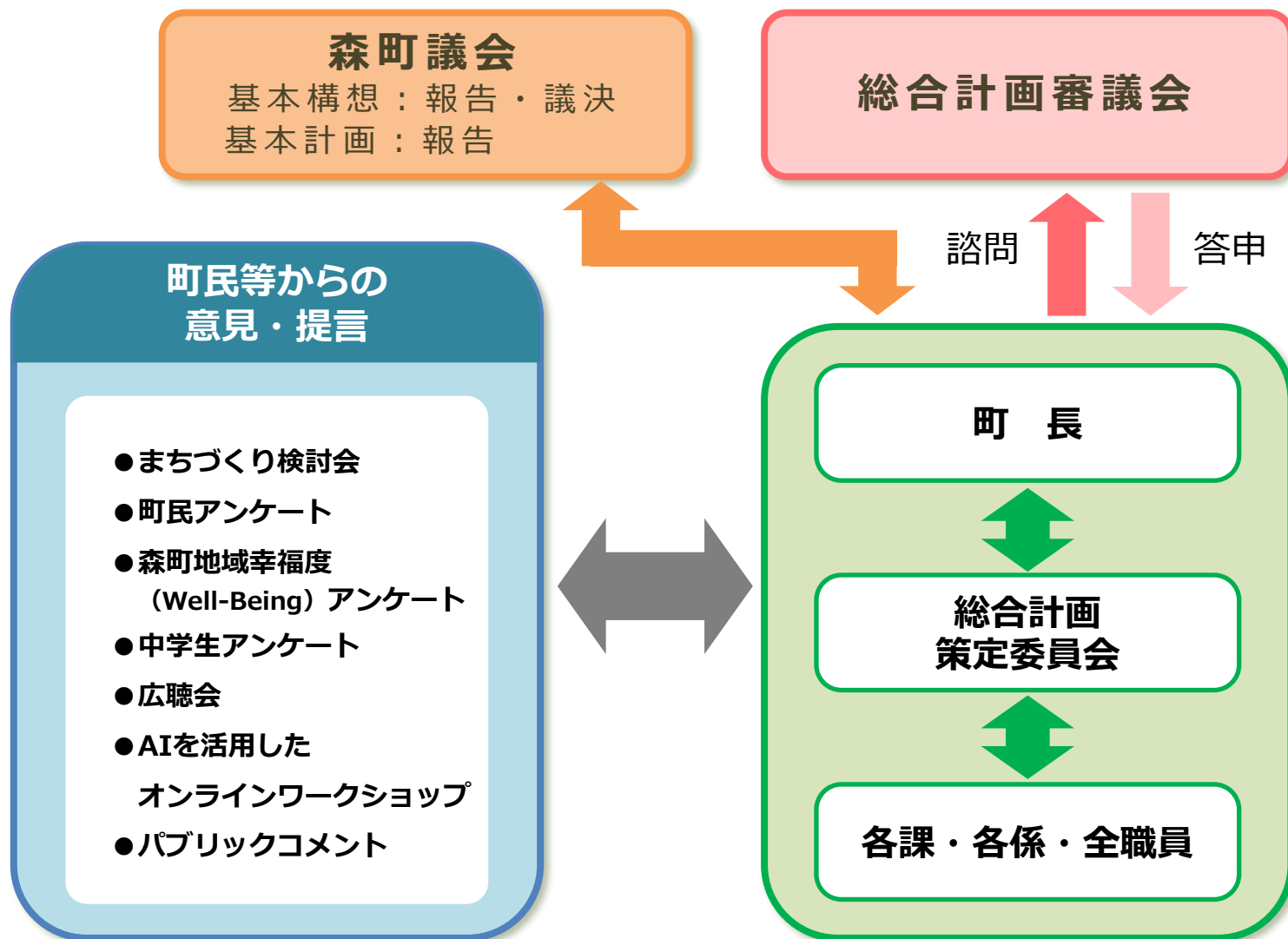
社会情勢の変化の速さに対応するため、**基本計画は5年ごとに策定**にします（前期・後期に分けて策定）。

■ 第9次総合計画・第10次総合計画の計画期間

		平成				令和															
		28	29	30	31	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
第9次	基本構想	計画期間10年																			
	基本計画	計画期間10年																			
第10次	基本構想											計画期間10年									
	基本計画											前期基本計画 計画期間5年					後期基本計画 計画期間5年				

第10次森町総合計画はどのように作るの？

町民等の皆さんからのご意見・ご提言をいただくとともに、森町総合計画審議会や森町議会に諮りながら、第10次森町総合計画の策定を進めます。



第10次森町総合計画はどのように作るの？

町民等のご意見等を把握するための調査は以下を予定しています。

①町民アンケート

実施済

【対象】 15歳以上の町民 2,000人（無作為抽出）

【主な調査項目】

- ・住んでいる地域や生活について
- ・森町のまちづくりに対する評価や期待について
- ・森町の地方創生の取組や今後の町政の進め方について
- ・まちの将来イメージについて

【調査期間】 令和7年8月27日（水）～9月12日（金）

【調査方法】 郵送配布、郵送・Web回収

【回収数】 819件（回収率41.0%）

②森町地域幸福度（Well-Being）アンケート

実施中

【対象】 町民一般

【主な調査項目】

- ・幸福度・生活満足度について
- ・生活環境や地域の人間関係、自分らしい生き方について

【調査期間】 令和7年8月27日（水）～12月5日（金）

【調査方法】 Web調査

①町民アンケートの対象者や
④広聴会参加者、町HP等で
協力を呼びかけ

③中学生アンケート

実施済

【対象】 町内中学生 1～3年生（407人）

【主な調査項目】

- ・森町の住みやすさ、地域活動への参加の意向と将来について
- ・森町のこれからのまちづくりについて

【調査期間】 令和7年7月7日（月）～7月17日（木）

【調査方法】 Web調査 【回収数】 384件（有効回収率94.3%）

④森町を語る会

【対象】 町内6地区の地域住民

【意見交換のテーマ】 「みんなで考えよう 未来の森町」（予定）

【開催時期】 令和7年11月23日（日）・29日（土）・30日（日）

【開催方法】 地区ごとに対面開催（各地区1回）

⑤まちづくり検討会

本日はここ

【対象】 町民、町内でまちづくりに携わる個人・団体、森町に関わりのある方等

【意見交換のテーマ】 10年後の目指す姿、その実現に必要な取組

【開催時期】 令和7年11月から令和8年度6月頃 計5回

【開催方法】 ワークショップ形式

⑥AIを活用したオンラインワークショップ

【対象】 森町に居住・通勤・通学している方、森町に事務所又は事業所を有する方、森町に関わりのある方

【テーマ】 「未来の森町に必要なこと」

【実施期間】 令和7年11月21日～令和8年1月31日（予定）

【調査方法】 オンライン（参加登録制）

④広聴会参加者、町広報、町HP等で参加を広く呼びかけ

⑦パブリックコメント

【対象】 森町に居住・通勤・通学している方、森町に事務所又は事業所を有する方、森町に関わりのある方

【募集する意見】 第10次森町総合計画（案）

【実施時期】 令和8年12月頃

第10次森町総合計画における基本理念・将来像・視点・基本の柱

第10次総合計画における核となる視点

(1) 社会情勢の急速な変化に対応した持続可能なまちづくり

出生数の向上や社会移動を増やす等、人口減少対策への取組

社会情勢の急速な変化に対応し、町民が心豊かに暮らせる持続可能なまちづくりへの取組

社会情勢の変化

- 人口減少・少子高齢化 ●物価高騰
- 価値観等の多様化 ●デジタル技術の進展
- 気象災害の激甚化・頻発化 など

(2) 森町らしさを生かしたまちづくり

森町の特性や地域資源を生かし、まちの魅力をより一層高め、広げる取組

町民や森町に関わる人が、まちに愛着や誇りが持てるまちづくりへの取組（シビックプライドの醸成）

町民や民間事業者等と連携した、まちの活性化に向けた取組

第10次総合計画

基本理念・将来像

基本の柱

人々の幸福度
(ウェルビーイング)

発展

新たな視点

核となる視点

第9次総合計画

(基本理念)

人の輪
外部との交流

対話
信頼の構築

調和
人と自然

(将来像)

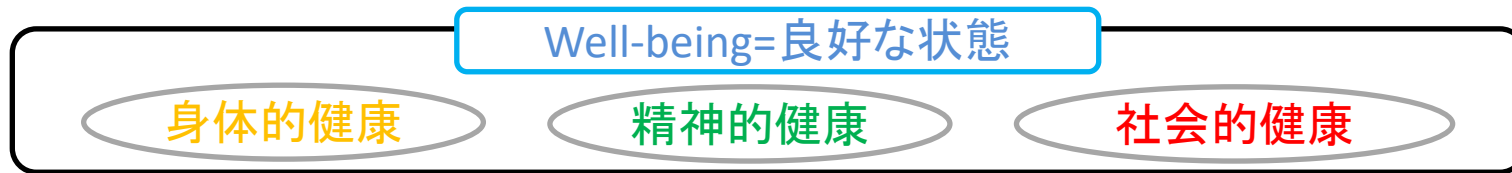
住む人も訪れる人も
「心とらぐ森町」

基本の柱

- ・みんなで助けあう健やかなまち
- ・先人に学びみんなで育むまち
- ・交流が盛んでにぎわうまち
- ・活気あふれる産業のまち
- ・いつまでも暮らせるやすらぎのまち
- ・豊かな自然があふれるまち

「幸福度（ウェルビーイング）」とは？

- ・ウェルビーイングとは、「**身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること**」を意味します。
- ・また、ウェルビーイング指標とは、町民の「暮らしやすさ」と「幸福度（ウェルビーイング）」を数値化・可視化する指標で、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが開発したものです。国の「デジタル田園都市国家構想」においては、ウェルビーイング指標を用いた取組の評価手法等を積極的に活用しながら、**地域が一体となって、幸福度の高い地域社会の実現を図り、その持続可能性を高めていくことが重要である**としています。
- ・静岡県の次期総合計画の目指す姿として「幸福度日本一の静岡県」としています。



- 世界的に認知された以下のふたつの考え方を地域幸福度(Well-Being)指標の基本概念としています。

ウェルビーイング (Well-being)

＝「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」

- 「健康とは、病気ではないとか、弱っていないというわけではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態（Well-being）にあること」（WHO）

健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health）

＝「個人または集団の健康状態に違いをもたらす経済的、社会的状況のこと」

- WHOソリッドファクト（2003年）に列挙された健康の社会的決定要因：社会格差、ストレス、幼児期、社会的排除、労働、失業、社会的支援、薬物依存、食品、交通
- 社会的決定要因とは、人間の健康には人間内面（身体・精神・社会）のみならず、外部環境も影響を与えているとする

国や県の動向を踏まえ、**第10次森町総合計画では、「幸福度（ウェルビーイング）」を新たな視点**として取り入れていきます。

町民アンケート結果等の共有

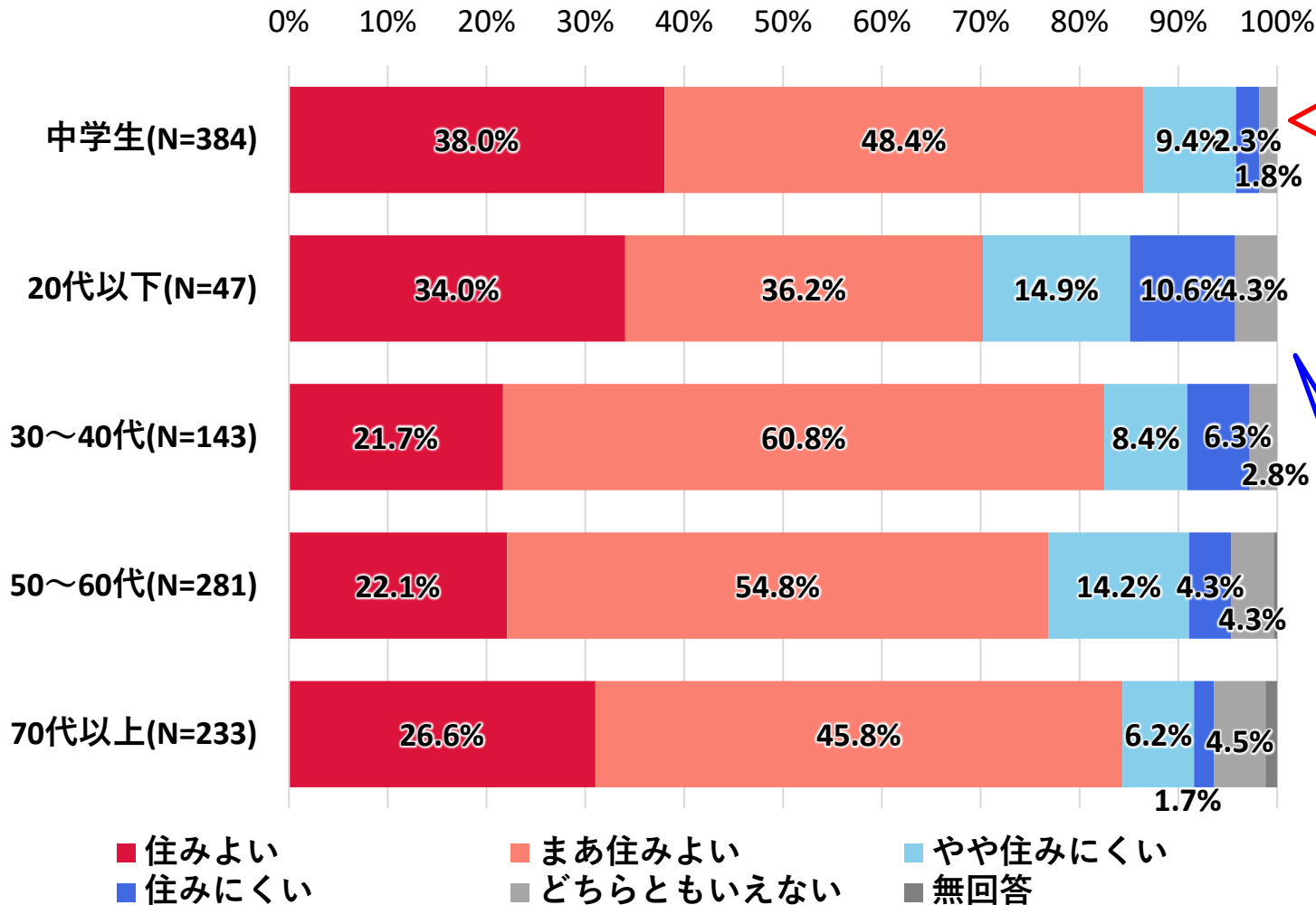


©komokomo

町民・中学生アンケート結果のご報告

Q.森町の住み心地はいかがですか。

※町民アンケートは15歳以上（高校生以上）を対象



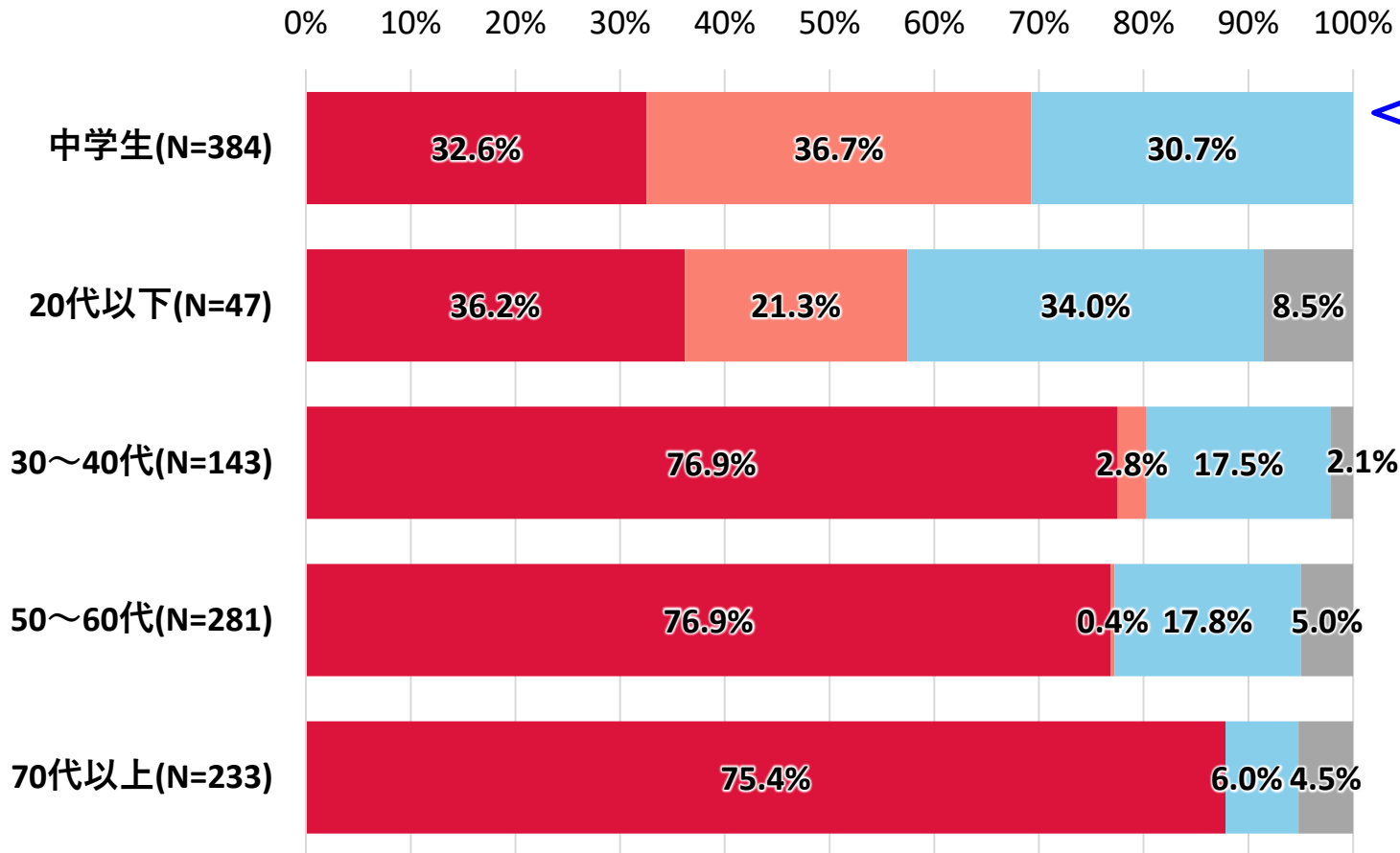
中学生以下と70代以上で「住みよい」
（住みよい＋まあ住みよい）という回答が多くなっています。

20代以下で「住みにくい」（やや住みにくい＋住みにくい）という回答が多くなっています。

町民・中学生アンケート結果のご報告

Q.今後も森町に住み続けたいですか。

※町民アンケートは15歳以上（高校生以上）を対象



中学生、20代以下の約3割が「町外に移りたい」と回答

■ 住み続けたい ■ 一度町外に出た後戻って住み続けたい ■ 町外に移りたい ■ 無回答

町民・中学生アンケート結果のご報告

Q.住み続けたい理由

※町民アンケートは15歳以上（高校生以上）を対象

順位	中学生 (N=266)	20代以下 (N=27)	30代～40代 (N=114)	50代～60代 (N=217)	70代以上 (N=303)
1	山や川などの自然環境がよいから 38.5%	まちに愛着があるから 44.4%	山や川などの自然環境がよいから 38.6%	近所の人など地域の人間関係がよいから 38.2%	近所の人など地域の人間関係がよいから 49.2%
2	近所の人など地域の人間関係がよいから 27.9%	山や川などの自然環境がよいから 40.7%	家族の近く又は一緒に住みたいから 36.8%	山や川などの自然環境がよいから 38.2%	山や川などの自然環境がよいから 41.3%
3	まちに愛着があるから 23.7%	家族の近く又は一緒に住みたいから 37.0%	近所の人など地域の人間関係がよいから 32.5%	犯罪や事故が少なく治安がよいから 25.3%	まちに愛着があるから 22.8%
4	食べ物や水がおいしいから 22.4%	食べ物や水がおいしいから 22.2%	まちに愛着があるから 23.7%	まちに愛着があるから 24.4%	犯罪や事故が少なく治安がよいから 21.1%
5	犯罪や災害が少ないから 20.1%	近所の人など地域の人間関係がよいから 18.5%	町内または近隣で働いているから 18.4%	家族の近く又は一緒に住みたいから 21.2%	災害の危険性が低いから 21.1%

全ての年代で「**山や川などの自然環境がよいから**」の回答が多くなっています。

中学生や50代以上で「**近所の人など地域の人間関係がよいから**」の回答が多くなっています。

町民・中学生アンケート結果のご報告

Q.町外に移りたい理由

※町民アンケートは15歳以上（高校生以上）を対象

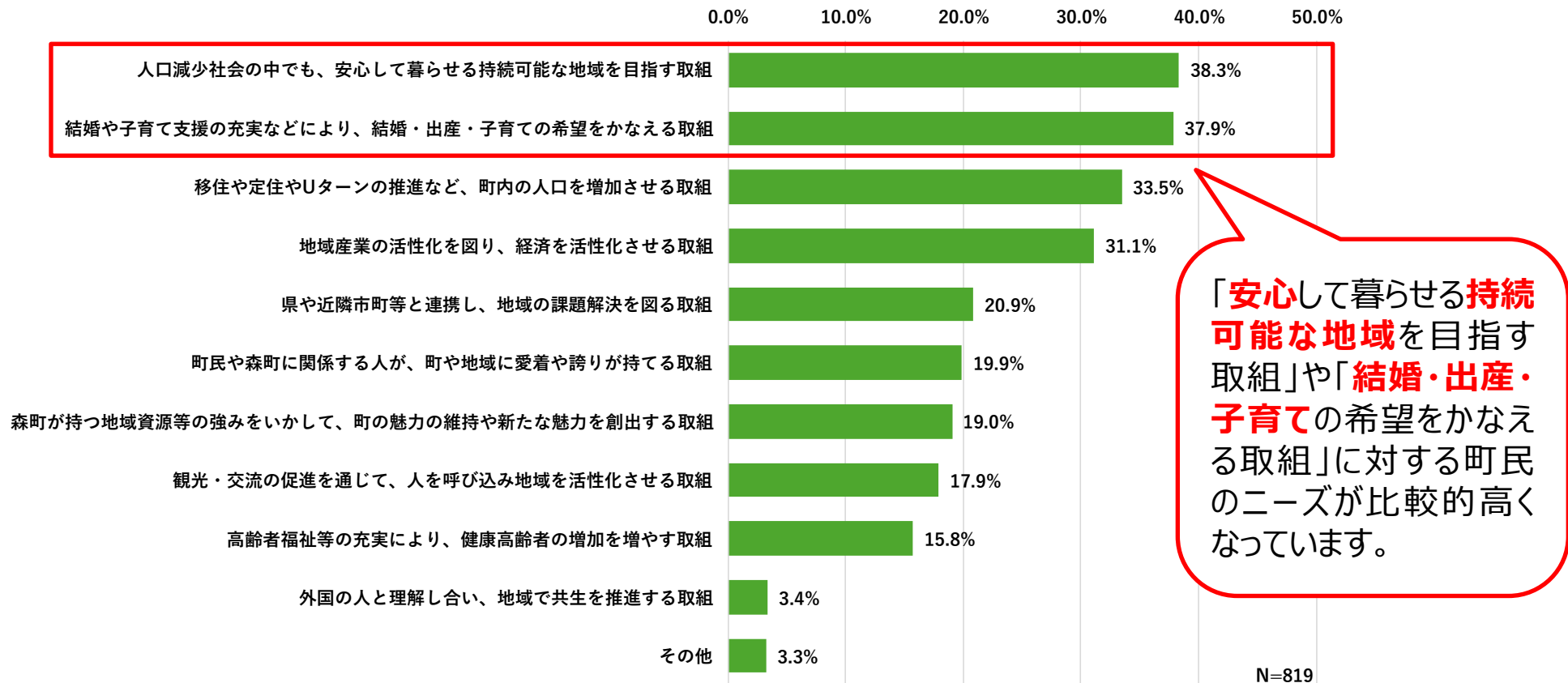
順位	中学生 (N=118)	20代以下 (N=16)	30代～40代 (N=25)	50代～60代 (N=50)	70代以上 (N=24)
1	買い物や飲食店が 少ないから 22.7%	公共交通機関が 充実していないから 50.0%	公共交通機関が 充実していないから 44.0%	公共交通機関が 充実していないから 46.0%	買い物など日常 生活が不便だから 41.7%
2	将来やりたい仕事 が森町にない・で きないから 14.8%	買い物など日常 生活が不便だから 50.0%	買い物など日常 生活が不便だから 40.0%	買い物など日常 生活が不便だから 44.0%	まちに活気や魅力 がないから 41.7%
3	電車やバスでの移 動が不便だから 13.5%	やりたい仕事が森 町にない・できない から 50.0%	地域での人間関 係がよくないから 20.0%	医療施設・サービ スが不足している から 28.0%	公共交通機関が 充実していないから 37.5%
4	遠くで進学や就職 をして、そこで住み 続けたいから 8.9%	町へのアクセスが よくないから 25.0%	やりたい仕事が森 町にない・できない から 20.0%	町へのアクセスが よくないから 20.0%	町へのアクセスが よくないから 29.2%
5	道路などの整備が 遅れているから 4.2%	地域での人間関 係がよくないから 12.5%	子育て環境がよ くないから 16.0%	まちに活気や魅力 がないから 18.0%	災害の危険性が 高いから 20.8%

全ての年代で「公共交通や買
い物等の利便性が低い」の回
答が多くなっています。

中学生や20代以上、30～40代の年齢
が低いほど「やりたい仕事が森町にない・
できないから」の回答が多くなっています。

町民・中学生アンケート結果のご報告

Q.少子高齢化、人口減少の中で、森町は今後どのようなまちづくりに力を入れていくべきだと思いますか。



本日のまちづくり検討会 の進め方



まちづくり検討会の内容

5 回程度の検討会のうち、本日は、第 2 回検討会の話し合いを深めるための、「**準備ワーク**」として位置づけています。

回数	実施日	主なテーマ
第 1 回	令和 7 年 11 月 12 日 (水) 19 : 00 ~ 20 : 50	◆オリエンテーション ◆町民・中学生アンケート結果や「ウェルビーイング」の考え方を共有する ◆ 私にとっての「幸せな暮らし」について考えよう
第 2 回	令和 7 年 12 月 3 日 (水) 19 : 00 ~ 20 : 50	◆ 町民にとっての「幸せな暮らし」について考えよう (第 1 回検討会の結果を踏まえて、「幸せな暮らし」を具現化)
第 3 回	令和 8 年 2 ~ 3 月頃	◆森町地域幸福度（ウェルビーイング）アンケート結果を確認する
第 4 回	令和 8 年 4 ~ 5 月頃	◆ 第 1 ~ 第 2 回の意見等から第 3 回以降のテーマを設定
第 5 回	令和 8 年 5 ~ 6 月頃	◆グループの意見・提案のとりまとめ

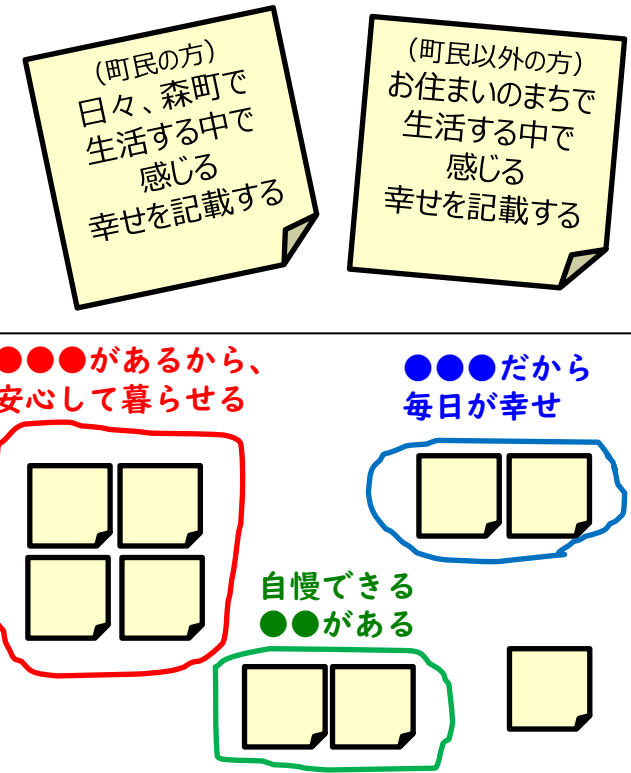
話し合い（グループワーク）の進め方

テーマ

私にとっての「幸せな暮らし」について 考えよう～どんなとき、どんな場面でこのまちはいいなと感じますか？～

進め方

- ① **自分の意見を出す**：皆さん自身にとっての「暮らしの幸せ」とは何かについて、想いのまま自由に考えてみましょう。各自、付箋に記入。1枚の付箋に意見は1つ。何枚書いてもOK。【10分】
- ② **グループの意見を共有する**：順番に一人ずつ模造紙に付箋を貼りながら、簡単に読み上げていただきます。【15分】
- ③ **さらに意見を出す**：メンバーの意見を聞いて、追加の意見があれば、順番に付箋を模造紙に貼みましょう。【5分】
- ④ **意見を分類する**：共通する意見の付箋を近づけたりしながら意見を分類し、見出しをつけましょう。【20分】
- ⑤ **全員で意見を共有する**：グループのみんなと話し合った結果を発表し、全員で共有しましょう。【15分】



話し合いにあたってのお願い

- ・ テーマに集中して話し合しましょう。
- ・ あなたの考えを積極的に話しましょう。
- ・ 話は短く、簡潔にお願いします。
- ・ 相手の話に耳を傾けましょう。
- ・ さまざまなアイディアの関係を考え、
アイディアをつなぎ合わせてみましょう。

話し合い



グループワークスタート

グループ発表



閉会、アンケート記入

